

広報 ごじようめ

発行 五城目町役場 ☎ 0188 62 2100 代
秋田県五城目町上樋口字向川原
☎ 018-17 12ブロック2ロット
編集 文書広報課
印刷 湖東印刷所 ☎ 0188 62 2430
毎月 1日・15日発行 一部 35円



七夕の燈ろう作り (8月・紀久栄町町内で)

彦星と織姫

牽牛(けんぎゅう)と織女(しよくじょ)が、年に一回のデートを楽しむというのが七夕伝説です。このロマンスは、奈良時代のころに中国から日本に伝ったそうです。

ところで、七夕(しちせき)というのは旧暦の七月七日の夕方という意味です。そして「たなばた」というのは布を織る機(はた)のことで、その機に棚(たな)がついていたので「棚機」と呼んだといわれています。

織女がいつも機を織っていたことと、七月七日のデートが重なって、平安時代のころから七夕と書いて「たなばた」と読むようになったとか。

頭上に横たわる天の川をはさんで、その両岸に輝く明るい二つの星が、牽牛星のアルタイルと織女星のベガです。織女星のベガの方がかなり明るく見えますので、二つの星の区別は比較的簡単にできます。

日本では牽牛星を彦星、織女星のことを織姫と呼んでいます。この二つの星は実際には十六光年離れています。彦星が織姫のところに、この世の中で一番速い光に乗っていても、十六年かかる距離です。

ですから私たちの考えでは、一年に一回のデートは、とてもむりな相談ということになります。でも、この二つの星の寿命は百億年くらいあるそうで、十六年に一回のデートでも多いくらいなのかもしれません。

せっかくのロマンスに水をさす野暮な話のようですが、こんなことを考えながら星空をながめるのも楽しいものです。

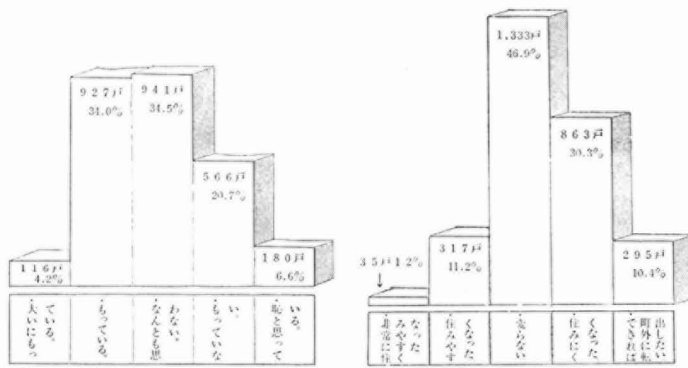
(広報紙中にある写真を欲しい方にはおあげします)

総合発展計画のアンケート

町の未来像は田園都市

町の長期総合発展計画策定のために行ったアンケート調査によると、四割近い世帯が町に誇りをもち、その理由として半数以上が恵まれた自然環境をあげ、住みなれた緑豊かな郷土に愛着を持っており、町の未来像としても田園都市的な町づくりを望んでいます。

また、町に力を入れてほしい行政施策には、地場産業の育成と企業誘致と答えています。



町に「誇り」をもっていますか……

町の住み具合は……

調査表は町政協力員を通じて配付、回収され、その回収率は七五・二%で、四軒に三軒がこの調査に協力してくれたことになります。

地区別の回収率は森山地区が最高で七九・四%、最低は大川地区の六九・二%。

あなたは五城目町の住み具合をどう思っていますか。

回答者の半数近くが「変らない」としています。しかし、「住みにくくなった」という答えが四〇・七%もありました。この理由の大部分が「働き場がない」「十分な収入が得られない」となっており、生活の根拠である収入の問題が大きな比重を占めています。

これに比べて「都会的な施設が少ない」を理由とした回答が少ないのは、町の施設が概ね整備されたことによるものと判断されます。「できれば町外に転出したい」

が二九五世帯ありましたが、実際には町の世帯数は昭和五十年以後ほとんど減少していません。しかし、人口の減少は顕著にあらわれており、定住対策は重要な課題と言えます。

あなたは、五城目町を自分の町として「誇り」をもっていますか。

三分の一が「なんとも思わない」と答えています。四割近い世帯が「もっている」としています。その理由の半分以上が「恵まれた自然環境」をあげており、自然の保護と利用が望まれていると言えます。

あなたは、五城目町ではどのようなことに力を入れる行政施策が適当だと思いますか。

七五%近い世帯で「工業」と答えており、第二位の「農林業」に大差をつけてトップになっています。

アンケートの回収率

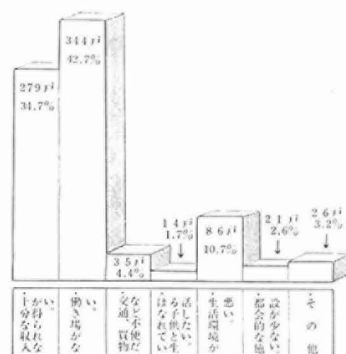
	世帯数 (5月1日現在)	回収数	回収率
五城目	1,491	1,166	78.2%
馬川	513	380	74.1%
馬場目	479	334	69.7%
富津内	437	326	74.6%
内川	344	265	77.0%
大川	451	312	69.2%
森山	238	189	79.4%
計	3,953	2,972	75.2%

町の住み具合についての調査でも、「十分な収入が得られない」「働き場がない」を理由にして、「住みにくくなった」「できれば町外に転出したい」という結果がでており、地場産業の育成と企業誘致に力を入れた施策に、強い期待が寄せられていることが分かります。

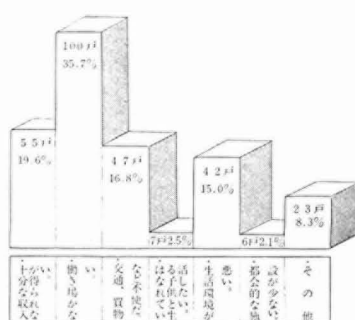
あなたの地区で特に力を入れて整備してほしい生活環境施設や公共施設は……

「下水道の整備」「周辺の生活道路の改良舗装」がともに二四%で、続いて「防犯灯や交通安全施設」「スポーツ・レクリエーション・公園施設」となっています。

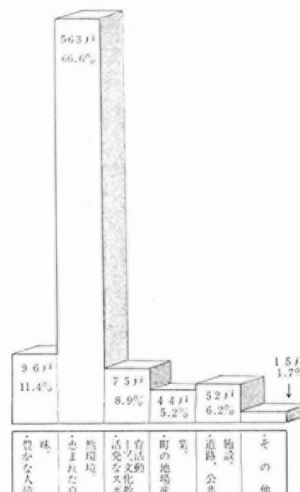
町では道路、下水路など生活環境を計画的に整備してきましたが、下水道等も加えたよりいっそうの整備が望まれているようです。



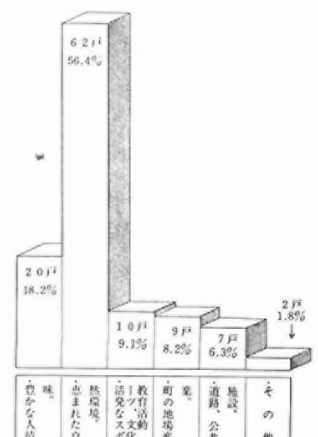
住みにくくなった理由は



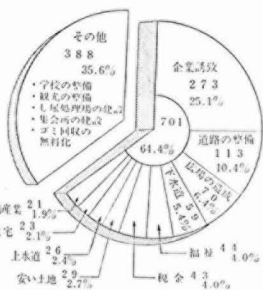
町外に転出したい理由



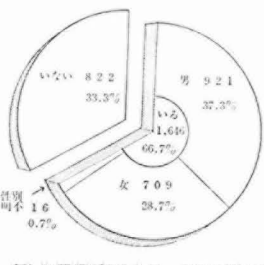
「誇り」をもっている理由



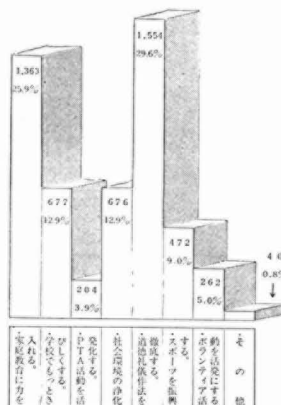
「大いに誇り」をもっている理由



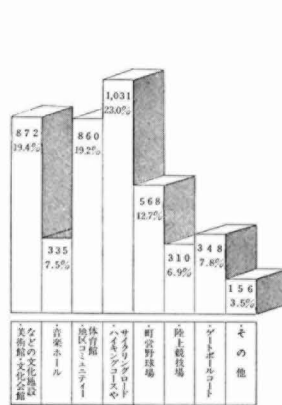
町づくりに必要なものは……



新しい職場ができれば、そこで働く人がいますか……



青少年の健全育成や非行防止には……



余暇活動や健康管理のための施設は……

あなたの家族の余暇活動や健康管理の充実のために、どのような施設を望みますか。

物質の豊かさから心の豊かさを求めるようになり、趣味、娯楽、スポーツ、レクリエーションなどの価値感が見直されています。このような状況の中で、町内のみならず、どのような文化・体育施設を望んでいるかを調べたものです。

回答は多いものから「ハイキングコースやサイクリングロード」「美術館・文化会館などの文化施設」「地区コミュニティ体育館」「町営野球場」という順ですが、回答は比較的多く「ハイキングコースやサイクリングロード」が最も多かった。また、「町営野球場」も比較的多く選ばれた。調査結果になりました。

青少年の健全育成や非行防止には、どのような対策が必要だと思いますか。

「道徳礼儀作法を徹底する」「二九・六％」「家庭教育に力を入れる」「二五・九％」「学校でもっときびしくする」「社会環境の浄化」がともに二・九％、「スポーツを振興する」が九・〇％となっています。

五城目町の未来像としてどのような町の姿を求めますか。

「田園都市的な町」二七・六％を最高に「農業の町」「福祉都市的な町」がともに一八・三％、「商工観光の町」一五・〇％となっています。

町内のみならず、田園都市的な町造り、つまり自然と調和のとれた緑豊かな「田園の中の都市」として、文化的で都市施設の完備された五城目町の建設を未来像として求めています。

また、人間の寿命が年々延び、高齢化社会が到来するということから、どのような「福祉都市的な町」という回答が第三位になっています。

あなたの家では、町に新しい職場ができた場合に、それに就労できる労働力がありますか。

一、六四六人が、町に新しい職場ができた場合に、それに就労できる労働力があると回答しています。

内訳は、男子が九二一人、女子七〇九人、性別不明一六人となっています。男女別の潜在労働力を比較すると、十八歳から二十五歳までと四十一歳以上では男子の方が潜在労働力が多く、二十六歳から四十歳までは女子が多い傾向にあります。

潜在労働力の調査結果は次のとおりです。

【男子】

18歳以下	256人
26歳～30歳	107人
31歳～35歳	136人
36歳～40歳	80人

【女子】

18歳以下	137人
26歳～30歳	120人
31歳～35歳	164人
36歳～40歳	114人
41歳～45歳	83人
46歳以上	86人
(年齢不明)	5人

【性別不明】 16人

五城目町の町づくりに必要と思うものは……

(この間は自由に記述していただいたものです)

「企業誘致」がトップで、続いて「道路の整備」「広場の造成(公園的な)」「下水道の整備」「福祉の充実」となっています。ここでも「企業誘致」が一番目にあがられており、町内のみならずの関心の強さをあらわしています。

またその他に占める割合が比較的大きいのが、少数意見で順位が十一番以下のもので、主なものとして「アップすれば円グラフに示したような内容になっております」。

長期総合発展計画策定アンケート調査

昭和五十九年度から始まる町の新しい長期総合発展計画を策定するために進められました。町内のみならずの要望や意向を数量的に把握して「町民とともに、町の未来の施策」を進めるとともに、地域の均衡ある発展に役立てようというものです。

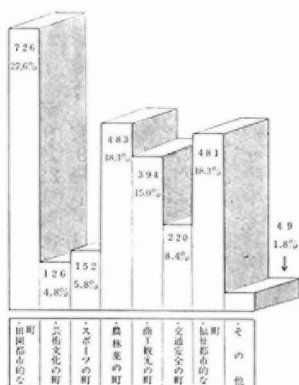
▽調査対象・内容

昭和五十八年五月一日現在の全世帯(三、九五三世帯)を対象に調査内容は、十一設問三十六項目で、主に択一式で実施しました。

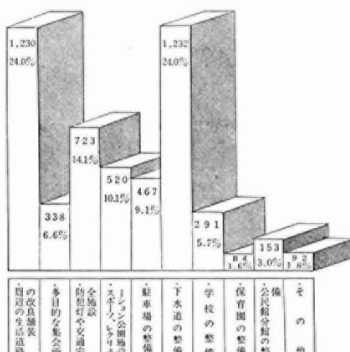
▽調査期間

昭和五十八年五月二十六日

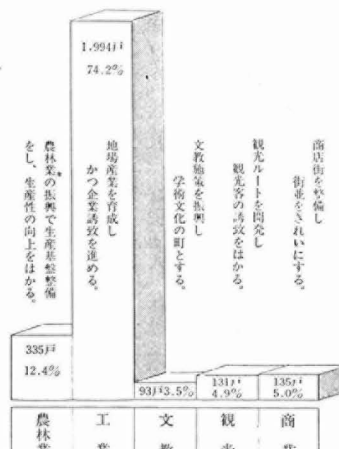
六月四日



町の未来像は……



生活環境施設、公共施設で特に整備してほしいものは……



どのような行政施策が適当か……

カメラレポート

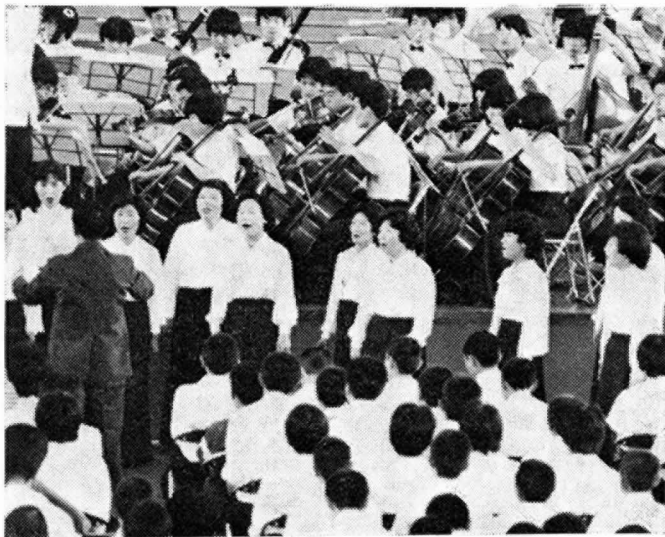


ママさんコーラスも出演

京都大学交響楽団の演奏会

7月19日、広域体育館で開かれた京都大学交響楽団の演奏会に、町のママさんコーラスが出演し、オーケストラをバックに、美しいハーモニーを披露しました。曲目は「夏の思い出」「アニーローリー」「町民の歌」の三曲。

演奏会には、町内の中学生と小学5・6年生、それに一般の人など約1,000人が訪れ、体育館に響きわたる生の演奏に聴き入っていました。



オーケストラをバックに歌うママさんコーラス



表彰を受ける第11分団

ポンプ操法で11分団優勝

消防訓練大会

五城目町消防訓練大会は、7月24日、雀籠運動公園広場で行われ、小型ポンプ操法で第11分団が、規律訓練では第10分団が優勝しました。また、大会には恋地婦人消防隊が特別参加し、小型ポンプ操法を披露しました。

▷規律訓練	優勝	第10分団(浅見内・黒土)
	準優勝	第11分団(湯ノ又・小倉)
	3位	第9分団(富津内上)
▷小型ポンプ操法	優勝	第11分団(湯ノ又・小倉)
	準優勝	第9分団(富津内上)
	3位	第8分団(富津内下)

お知らせ

処暑 8月24日

処暑(しよしよ)とは、暑気がやむという意味。このころになると、ようやく暑さも峠を越し、涼しさが加わってくる。



循環器検診を行います

町では、町内を巡回して循環器検診を行っています。

いでも悪くないからと油断しないで、必ず年一回は集団検診を受けて自分の健康を確かめてください。受診料は八百円です。

▽9月5日(月)

前9時~11時半

五城目町農協前

後1時半~2時半

馬川公民館前

▽9月12日(月)

前9時~11時半 大川多目的集会
所前(旧大川出張所前)

後1時~2時半

石崎部落公民館前

▽9月13日(火)

前9時~11時半

谷地中部落公民館前

後1時~2時半

上樋口部落公民館前

▽9月14日(水)

前9時~11時半

五城目町消防署前

後1時~2時半

五城目町役場保健室

▽9月16日(金)

前9時~11時半 五城目町役場前
後1時半~2時半 富津内児童館前

▽9月21日(水)

前9時半~11時半

杉沢部落公民館前

後1時半~2時半

馬場目児童館前

▽9月22日(木)

前9時半~11時半

落合部落公民館前

後1時半~2時半

湯ノ又部落公民館前

山火事予防の標語募集

財団法人林野弘済会では、山火事予防の標語を募集しています。

▽標語の内容

山火事の恐ろしさやこれの予防および森林資源の確保などを強く表現したもの。

▽応募方法

郵便ハガキに一人標語1句と住所、郵便番号、電話番号、氏名(ふりがな)を明記する。作品は一人1句とする。

▽締め切り 8月31日

▽作品の送り先

財団法人 林野弘済会
〒113 東京都文京区後楽一丁目7-12
林友ビル6階

電話 03-816-2471



わたしは山火事防止のシンボルです
どうぞよろしく

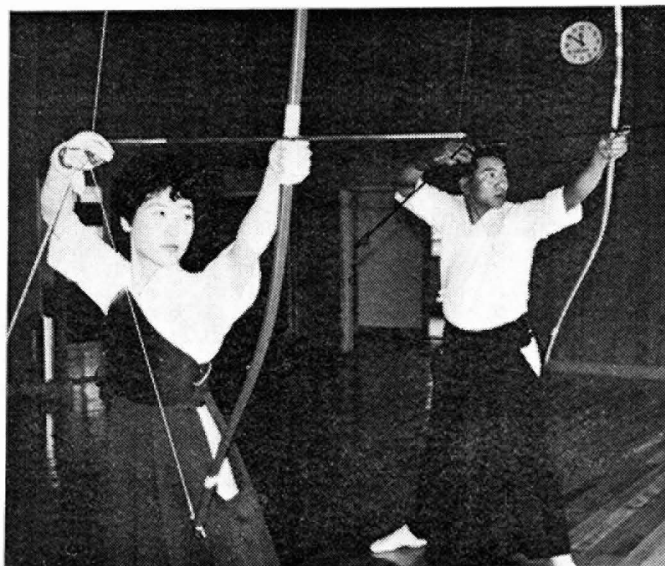
カメラレポート

弓道教室の修了生大活躍

館岡 2 段・近藤 4 段

第34回秋田県民体育大会の弓道女子個人で、館岡美佐子さん（下高崎・五城目警察署勤務）が、八射六中の好成績で優勝しました。また、近藤貞治さん（中川原・五城目消防署勤務）は、このほど県代表の国体選手3人の中に選ばれました。

館岡さんは2段、近藤さんは4段で、ともに五城目町弓道クラブ弓道教室の修了生です。



道場で練習に励む館岡2段（手前）と近藤4段



発掘調査の現場で説明を聞く

考古学ファン100人集まる

中山遺跡発掘調査の報告会

中山遺跡発掘調査の報告会は、7月23日、発掘に携わった県埋蔵文化財センターの高橋忠彦主事の説明で行われました。発掘調査の現場には考古学ファン約百人が集まり、熱心に説明を聞いていました。

今回の調査では、土器や石器のほかに、木器や漆器、動物の骨、土偶、それにトチやクルミの実も発見されました。この中でも朱塗りの弓（長さ約70センチ）は、全国的にも貴重な遺物です。また、木の皮を巻いたドーナツ状の木器（直径約30センチ）も発見されましたが、用途は分からないそうです。

お知らせ

就学義務猶予免除者

中学校卒業程度認定試験

病気などで義務教育諸学校に就学することができなかった人に対して、中学校卒業程度の学力があることを認定する試験が行われます。合格した人には、高等学校の入学資格が与えられます。

▽受験案内などの申し込み

町の教育委員会を通じて県高校教育課に請求すること

▽願書受付場所

秋田県教育庁高校教育課

電話 60-2178

秋田市山王四丁目1の2

▽受付期間 8月11日～9月10日

おり、受講者の学習の進み方に応じて調整できるように工夫されています。

▽受講資格 どなたでも

▽受付期間 8月1日～9月30日

※詳しい案内書をご希望の方は、NHK秋田放送局または、次の所へ講座名と氏名、住所、電話番号を書いてハガキでご請求ください。案内書を無料でお送りします。

〒186 東京都国立市富士見台2-36

NHK学園CT係

電話 0425(72) 3155 (代表)

くらしのニュース

放送番組(9月)

NHK学園 社会通信講座

秋の受講者を募集しています

NHK学園では、昭和58年度秋の「社会通信講座」の受講者を募集しています。

この通信講座の利点は、レポートの添削が中心で、だれでも自宅にいながら自分の都合のよい時間に、自分のペースで学べるということです。

講座は「書道」「硬筆」「母と子の硬筆」「簿記」「俳句」「短歌」「文章」「絵画」「開巻」

「英語」「数学」「国語」の12講座36コースで、自分の力量に適したコースを選ぶことができます。

どの講座も定められた期間内に学習が修了できるシステムになっています。

▽苦情相談から

学習教材の契約トラブル

AB S: 29日 AK T: 27日

▽苦情相談から

消費グループの活動から

本庄市消費者の会

AB S: 22日

▽苦情相談から

家出人を捜す相談所

警察署で8月1日から

五城目警察署では、八月一日から三十一日まで、署内に「家出人を捜す相談所」を設け、行方の分からなくなった方についての相談に応じています。

警察では、家出人などの届けを受けると、全国に手配して行方を捜しますが、残念ながら手がかりのない方も大勢います。このように行方の分からない人の中には自殺や事故死、あるいは犯罪の被害者などで、身元不明のまま異郷の地で無縁仏として葬られている



場合もあります。昭和二十六年から今年の六月末現在で、全国で二万八千九百九十二体、県内では百五十六体にのぼっています。

相談所には、身元の分からない死者の服装や持ちものなどの写真を備えています。心あたりの方は、気軽に利用してください。

▽五城目警察署 電話 52-4100

NHKテレビ特別番組

銀雨氏宅から生中継

8月16日午後8時から

町内の川柳人の集りである「すずむし吟社」が、NHKテレビの特別番組で全国に紹介されます。放送日は八月十六日、午後八時から八時五十分までの生放送です。この特別番組は「親と子」がテーマで、渡辺銀雨氏の家族のほか

川柳を楽しんでいる四組の親子が出演することになっています。

NHKでは大阪放送局をキーステーションにして、当町の「すずむし吟社」のほかに、熊本市の「川柳噴煙社」、大阪の「番傘」「川柳塔」が紹介されます。大阪での総合司会に桂三枝、当町には笑福亭仁智が訪れ、新畑町の渡辺銀雨氏宅から生中継されます。

協同石油女子バスケット

広域体育館で合宿

協同石油日本女子バスケットチームが、八月二十日から二十七日まで、広域体育館で強化合宿を行います。同チームは実業団のチャンピオンチームで、当町出身の石井選手もこの合宿に参加します。

犬の放し飼いはやめましょう。

最近、犬の放し飼いが増え、道路などにも犬の汚物が目につくようになりまし。そのため、町内会や部落会から犬に関する苦情が多く寄せられています。

例をあげると

・朝になると、家のまわりや道路にフンが散らばっている。夜中に放し飼いは法により禁止さ

ではないか。

・放し飼いの犬に吠えられたり、ジャレつかれるため、子供が心配。

・飼いが犬を運動させているとき、自分の犬のフンを片付けていない。

・走っているとき、放し飼いの犬に追いつかれヒヤッとした。

・犬がゴミの袋を破り、中の物を散らかしてある。

れています。犬が人をかむ事故を防ぐためにも、放し飼いをしないようにしてください。

また、犬が公共の場所や他人の家などを汚し、飼いがこれを放置した場合、法により罰せられることがあります。犬を連れて外出した場合、飼いは責任をもって犬の汚物を処理するようお願いいたします。

犬の放し飼いを見かけた方は、役場保健衛生係に連絡してください。

我が村の落書

(2)

島山鶴松

明治大正当時の春秋の馬放し

0

馬放しはこの田舎にもあったようだ。当時は全反別が水田で、田の畔に一畝づつ土を付けて、畔を丈夫にし、作業をしやすいように塗るものであった。

田作業の手順はまず、一株ごとに畝で打って、終るとこんどは、田の小切(田カジキ)をするもので、一株づつ畝で打ったものを、二ツか三ツに細かにする。これを一番カジキと言う。一番が終わるとこんどは二番カジキをし、終ると全部の田を平にするため、十二尺くらいの角木を肩にかけ、一枚の田を三回くらい引いて、稲株や土のでこぼこのないようにしたものです。

それから田植に入るが、農家はどこの家でも一、二頭の馬は必ず飼っていた。金肥は全く地方には入らず堆肥でないと収獲がとれないから、馬半財産と言った。そのため馬を大切に飼うために、田植で忙しくなると、馬を家に置いて草を刈る暇がないから、田に手伝いしない親父とか、親方衆の野郎若勢達が部落全部の馬を、各自、名々一人何軒かの馬を引き受けて、往復毎日野放しに歩くものであった。

親父達は毎日四、五人で、濁酒をトックリに一升入れて歩くもの

で、午後になると酔いつぶれてしまったため、野郎若勢が馬の監視につかされたものです。

馬は突然山へ放されるため、家に帰らなくなり、帰り路になると五、六十頭の馬が、老馬を先きに、所々に老馬を入れ、後を追って来ると陽見もしないで家まで来る正直なものである。中に小馬は、間違えて外の馬について行くこともある。

しかし馬は一回歩いた路は、林の中でも何年たっても忘れることはないようだ。自分でもわからないところを、馬を追って後をついて来ると、必ずしもその路に出たもので、そのため野郎若勢でも役に立ったものでした。

田植を終って、田の草取りに入ると今度は、宿り馬番である。一軒から一人ずつ三軒一組で、最初松を切り、風でもいたまないようにに丈夫に、雨のむらないうちに、周囲から雨水の入らないように、屋根に藁の「ノマ」を掛けて、はがれないようにし、周囲は藁藪で囲うものである。ある中にはワラを敷きその上に藁を敷き寝る。

次の馬番は三人で、翌朝ご飯前までに馬番の小屋に着くようにして行く。前の馬番は、誰の馬はどこにいるか、全部の馬を渡してから家に帰る。もし一匹でも見えな

い場合は、一日でも二日でもその

馬を尋ねて、次の馬番に渡す責任があった。そのため始終、誰れの馬はどこにいるか、朝早く起き確かめておかねばならないものであった。



日帰りの馬放し (題字・カット 島山鶴松)

伝言板

「広報五城目町」では、生活の知恵やむかし話などを町内のみなさんから募集し、広報紙に掲載したいと思っています。

投稿をお待ちしています

募集期限は特にありませんが、紙面の都合上、字数は千字以内とします。採用させていただいた方には、記念品をさしあげます。募集作品の内容は次のとおりです。

- ▽ふるさと五城目の知恵
- 昔から言い伝えられ毎日の生活に役立ってきたあなたの「生活の知恵」をおよそください。
- ① ぐらしの工夫
- ② 衣、食、住

- ③ 気象
- ④ 園芸、農業
- ⑤ 健康法
- ⑦ 生き方
- ⑧ その他

▽ふるさとむかしむかし
郷土に昔から言い伝えられてきた伝説、民話などお知らせください。

- ① 伝説
- ② 民話
- ③ おとぎばなし

▽ふるさとだより
あなたの肉親、親せきの方で町外で働いておられる方の、ふるさとだよりと近況を伝える写真を募集します。

- ① あなたの近況
- ② ふるさとへの希望
- ③ ふるさとへの思い出

役場文書広報課

金融機関の土曜休業による
県の取り扱い

八月から、銀行等の金融機関が

「福祉医療受給者証の更新は済みでしたか」

ません。早めに保健衛生課へ、左記のものを持参しておいでください。

母子、父子家庭の児童、老人保健の高齢身障者（身障手帳四級、六級の方）の福祉医療の期限が七月三十一日で終わりました。
新しい福祉医療受給者証でないとお医者さんへかかることができ

- ① 福祉医療受給者証
- ② 健康保険証
- ③ 印かん

- ④ 福祉医療受給者証の交付を受けていない人（次に該当する者）は申請してください。
- ① 二歳未満の乳幼児および二歳
- ② 身体障害者福祉法による身体障害者手帳所持者で六十五歳～六十九歳までの四～六級までの者
- ③ 重度心身障害児者で療育手帳④の所持者および身体障害者手帳（一～三級）
- ④ 母子家庭、父子家庭の十八歳未満の児童

毎月第二土曜日に休業することになりましたので、当日は県からの支払いや、金融機関を通じての納入はできなくなりました。
このため、県では、支払いについてはその前日とし、納入については翌々日の月曜日とするように取り扱うことにいたします。
なお、県税等で、当日納入する必要がある方は、最寄りの県税事務所または、地方部企画管理室の窓口で受け付けをいたしますので、ご利用ください。

秋田県

納税申告の提出・納付期限

第二土曜日の場合

翌週の月曜日まで延長

昭和五十八年八月から、納税申告書の提出、納付などの期限が、その月の第二土曜日に当たるときは、日曜日や国民の祝日その他一般の休日の場合と同様に、その期限が翌週月曜日まで延長されることになりました。
これは、毎月の第二土曜日は銀

行等の金融機関が休業し、また、郵便局の窓口業務が行われないことになったことによるものです。
この結果、例えば、源泉所得税の納期限は通常、翌月十日ですが、この日が第二土曜日に当たるときは、その翌々日の十二日が納期限となります。
詳しくは、最寄りの税務署または、税務相談室におたずねください。

税務署

フスマ張り講習会開催

母子寡婦家庭を対象に

母子寡婦家庭を対象にした、フスマ張り講習会を井川町と合同で開催いたします。
受講を希望される方は八月三十一日までに、町の社会福祉協議会（電話52-2100）へ申し込んでください。

- ▽日時 昭和五十八年9月4日（日）午前10時～午後2時
- ▽場所 井川町農村環境改善センター
- ▽講師 照井表具師
- ▽持ち物 昼食 持参

社会福祉協議会

日曜営業給油所（8月）

五城目・八郎湯地区

21日（有）北島石油店

電話52-3820

28日 秋田ツバメ商事（株）

電話75-3446



献血ありがとうございます

ごさいます

七月三十一日、町内五カ所で行われた献血に、たくさんの方々が協力してくれました。献血者のお名前は次のとおりです。（敬称略・数字は献血回数）

鈴木 信子 1	金 浩美 3	栗山 忍 2
平川 匠子 1	児玉 泰 16	児玉 幸子 22
越前 勝也 21	小原 政雄 4	松橋 兼巳 10
宮腰 俊一 34	児玉 昇 21	伊藤 誠 13
佐藤 貴子 4	賀藤 正一 6	伊藤 誠 13
千葉 和彦 10	賀藤 正一 6	伊藤 誠 13
石井 政則 15	館岡 正和 12	伊藤 誠 13
朝野 暢稔 6	伊藤 正春 1	伊藤 誠 13
小原 昌作 30	安達 敏子 4	伊藤 誠 13
館岡 二郎 37	渡辺 鉄雄 16	伊藤 誠 13
小玉 久俊 3	工藤 高明 14	伊藤 誠 13
菅原 秋雄 42	鎌田 泰子 14	伊藤 誠 13
鈴木 信子 1	金 浩美 3	伊藤 誠 13
平川 匠子 1	児玉 泰 16	伊藤 誠 13
越前 勝也 21	小原 政雄 4	伊藤 誠 13
宮腰 俊一 34	児玉 昇 21	伊藤 誠 13
佐藤 貴子 4	賀藤 正一 6	伊藤 誠 13
千葉 和彦 10	賀藤 正一 6	伊藤 誠 13
石井 政則 15	館岡 正和 12	伊藤 誠 13
朝野 暢稔 6	伊藤 正春 1	伊藤 誠 13
小原 昌作 30	安達 敏子 4	伊藤 誠 13
館岡 二郎 37	渡辺 鉄雄 16	伊藤 誠 13
小玉 久俊 3	工藤 高明 14	伊藤 誠 13
菅原 秋雄 42	鎌田 泰子 14	伊藤 誠 13

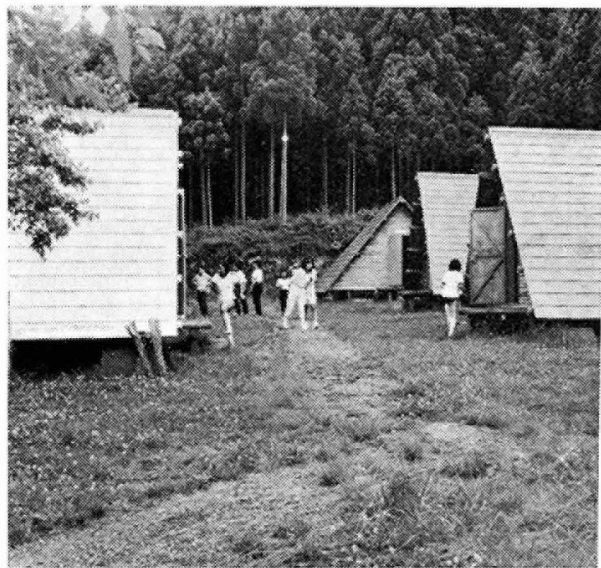
川をきれいに!!

「川」を捨てるのはめまじょう



五城目町

五城目町へようこそ



夏休みに入り町外の利用も多い森山キャンプ場

- ・ 7月27日 中央ブロック栄養指導研究会 (10人)
視察：役場庁舎
- ・ 6月28日 昭和町老人クラブ (20人)
視察：役場庁舎
- ・ 南秋米価共同会議
議長小野正一氏、外6名
視察：役場庁舎
- ・ 城南中学校PTA (60人)
視察：町民センター・温水プール・広域体育館
- ・ 大潟村保育園 (50人)
レクリエーション：広域体育館
- ・ 県林業公社 (4人)
- ・ 7月29日 宿泊：赤倉山荘
農水省災害査定官 (5人)
地震災害査定のため来町
- ・ 6月30日 協和町役場建設課 (2人)
視察：役場庁舎
- ・ 8月1日 八郎湯町体操クラブ (15人)
練習：広域体育館
- ・ 7月2日 林野庁・県林政課・県森連
視察：役場庁舎
- ・ 天王町江川子供会 (50人)
キャンプ：森山キャンプ場
- ・ 7月3日 秋田市土崎なかよし子供会
レクリエーション：町民センター・温水プール
- ・ 日本産業パレーボール全国大会秋田県予選
会場：広域体育館
- ・ 7月4日 南秋田郡夏季中学校体育大会 (休操)
会場：広域体育館
- ・ 7月8日 秋田中央地区戸籍担当職員
視察：役場庁舎
- ・ 7月10日 第34回県民体育大会剣道競技兼第38回国体秋田県予選
会場：広域体育館
- ・ 上小阿仁村婦人会 (38人)
宿泊：赤倉山荘
- ・ 秋田土崎公民館書道クラブ (12人)
宿泊：赤倉山荘
- ・ 7月13日 湖東地区幼稚園教育課程研究協議会 (60人)
研修会：町民センター
- ・ 7月14日 東北電力秋田営業所 (2名)
視察：役場庁舎
- ・ 7月15日 静岡県天龍官材協会 (20人)
視察：役場庁舎
- ・ 7月16日 秋田市八橋消防団 (11人)
宿泊：赤倉山荘
- ・ 岩城町森林組合 (51人)
林業視察のため来町
建設省住宅局住宅建設課 (4人)
視察：役場庁舎
- ・ 青森県林局長、外9名
視察：役場庁舎
- ・ 八郎湯町調理士会 (12人)
懇親会：恋地山荘
- ・ 八郎湯町青年団 (50人)
キャンプ：森山キャンプ場
- ・ 7月27日 井川町若妻会 (6人)
宿泊：赤倉山荘
- ・ 7月18日 天王町二田若妻会 (12人)
宿泊：赤倉山荘
- ・ 7月18日 京都大学交響楽団 (104人)
演奏会：広域体育館
- ・ 7月19日 秋田県農村整備協会 (40人)
視察：役場庁舎・恋地山荘
- ・ 南秋保護司会 (20人)
視察：役場庁舎
- ・ 7月21日 石川県山林協会 (32人)
林業視察のため来町
- ・ 7月22日 鹿角市教職員互助会 (43人)
視察：役場庁舎・恋地山荘
- ・ 秋田県交通対策室 (18人)
会議：町民センター
- ・ 八郎湯保育園 (120人)
レクリエーション：町民センター・温水プール
- ・ 7月24日 阿仁町吉田親の会・子供会 (48人)
レクリエーション：町民センター・温水プール
- ・ 昭和町調理士会 (16人)
懇親会：恋地山荘
- ・ 天王町羽立老人クラブ (18人)
宿泊：赤倉山荘
- ・ 7月25日 昭和町産業課 (29人)
研修会：恋地山荘
- ・ 7月28日 秋田市将軍野婦人部 (23人)
研修会：赤倉山荘
- ・ 秋田営林署 (13人)
視察：役場庁舎
- ・ 保戸野本町子供会
レクリエーション：町民センター・温水プール

町の行事予定

8月後半

- ・ 19日 (金)
・ 長期総合発展計画策定庁内部門別検討会Ⅱ教育、文芸 (企画調整) 後1時30分
- ・ 出稼者就労前健康診断 (商工観光) 前9時 役場保健室
- ・ 22日 (月)
・ 長期総合発展計画策定庁内部門別検討会Ⅲ建設 (企画調整) 後1時30分
- ・ 民生委員協議会全体会議 (住民) 後1時30分
- ・ 各小中学校2学期始業 (学校教育) 役場4階会議室
- ・ 全町盆踊り大会 23日 (社会教育) 後8時 雀館線
- ・ 23日 (火)
・ 日本水道協会県支部講習会 (水道) 後1時 町民センター
- ・ 24日 (水)
・ 長期総合発展計画策定庁内部門別検討会Ⅳ社会福祉 (企画調整) 前10時 役場4階会議室
- ・ 林構事業組織化推進協議会 (林政) 後2時 役場会議室
- ・ 25日 (木)
・ 長期総合発展計画策定庁内部門別検討会Ⅴ農林商工 (企画調整) 前10時 役場4階会議室
- ・ 成人病予防教室 (保健衛生) 後1時 役場保健室
- ・ 戦没者追悼式 (住民) 後1時30分 町民センター
- ・ 産業文化祭打合せ会 (農政) 後1時30分
- ・ 秋季農作業賃金及び料金協定 (農業委員会) 後1時30分 役場4階会議室
- ・ 28日 (日)
・ 町内対抗水泳大会 (社会教育) 前10時 温水プール
- ・ 町内対抗相撲大会 (社会教育) 後1時15分 相撲場
- ・ 30日 (火)
・ 振動障害対策巡回指導事業実施検討会 (林政) 後3時 役場会議室
- ・ 31日 (水)
・ 郡老連湖東部指導者研修会 (社会福祉協議会) 前10時 町民センター1
- ・ 五城目町八郎湯町・県道整備促進期成同盟会総会 (建設) 後2時 八郎湯町役場

町の人口と世帯

8月1日 現在

人	口	15,968人 (+3)
	(男)	7,651 (+2)
	(女)	8,317 (+1)
世	帯	3,961世帯 (-4)

※ () 内は前月との比較